

サラヤ株式会社
バイオケミカル研究所
サラヤ微生物研究センター

高度なエビデンスに基づく
感染予防対策を目指して



サラヤ微生物研究センターは、2009年の8月に新設され、彩都バイオインキュベータに研究所を構えました。微生物の取扱いに特化したメンバーで構成されており、ウイルス不活化試験や殺菌力試験などを行い、弊社商品の性能評価を行っています。また、性能評価を行う中で、例えばバイオフィルムを用いた評価方法や、消毒剤のすすぎによる除菌効果の評価方法など、これまでにならぬ新たな評価方法の確立も目指して日々研究を行っております。

彩都バイオインキュベータを選んだ理由は3つあります。1つ目は、P2レベルの微生物取扱施設として運用できた点です。P2レベルであれば、通常使用する微生物のほとんどを取り扱うことができます。2つ目は大阪大学、医薬基盤研究所が近い距離にあったことです。とくに大阪大学とは様々な学部と共同研究を行っており、共同研究を行う上での拠点としての役割も果たすことができました。実際にそのような役割を果たすことが社内の数々のベンチャー企業が近くに存在することです。様々な技術が身近に転がっており、刺激をもらうとともに、時には共同研究・共同開発を行うことで、イノベーションを起こしやすくなるのが目的でした。現状、共同研究等は実現しておりませんが、絶えず入居ベンチャー企業様の技術進歩はセミナー等を通じてチェックしており、マッチングすればすぐにでもお声がけさせて頂く用意をしています。

サラヤは、公共の場やオフィスなどでおなじみの緑の石鹼液「シヤボネット」をはじめ、石鹼液の開発・販売から始まり、うがい薬、食器用洗剤、手指消毒剤、健康食品など、現在では多岐にわたって商品の開発・販売を行っております。また、普段目にすることの少ないスーパーや飲食店のバックヤード、食品工場などにおいて衛生調査や指導も行っております。近年では、ボルネオでの環境保全活動や、「百万人の手洗いプロジェクト」と題したウガンダでの手洗い促進活動など、海外でも様々な活動を行っております。このように、弊社では、互いに密接な関係にある「衛生」「環境」「健康」という3つのキーワードを事業の柱として、より豊かで実りある地球社会の実現を目指しています。

2019年末に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界中に拡大し、現在も猛威を振るっています。感染予防対策のご提案をする上で、より高度なエビデンスを構築するため、大阪大学微生物研究所と共同研究を締結し、“ホンモノ”の新型コロナウイルスを用いた弊社商品の有効性評価も実施しております。取得した高度なエビデンスに基づき、新型コロナウイルス感染症における感染症対策の構築・提案・普及を行うことで、感染予防および感染者数の拡大防止に貢献していく所存です。

以前は柏原市の工場と併設の研究所有しており、微生物学的評価を行うため様々な微生物を保管・使用してきましたが、周りが住宅地となり取扱いが難しくなりましたため、レンタルラボ等を活用して微生物学的評価業務を切り離す方向で話を進めてきました。その時に、大阪大学や医薬基盤研究所が近い距離にあり、多数のベンチャー企業が入居する彩都バイオインキュベータに2室空きがあることが分かり、即決で企業することにになりました。

サラヤの商品や活動にご興味をお持ちの方は、弊社HPをご覧くださいませ。また、我々サラヤ社員は、正しい手洗いやうがい、衛生管理などについて熟知しておりますので、感染症対策等、気になることがありましたら、お気軽にお問い合わせ頂ければと思います。

<http://www.saraya.com/>



会社概要

会社名 サラヤ株式会社
住 所 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8
TEL 06-6797-8101
FAX 06-6700-6656
従業員数 1,822名 (2019年10月末現在)
設立年月 創業 1952年 設立 1959年
代表者名 更家 悠介

バイオケミカル研究所
サラヤ微生物研究センター

住 所 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-7-15
彩都バイオインキュベータ 309号
TEL 072-640-1145
FAX 072-641-6606
設立年月 2009年8月
センター長 原田 裕



彩都で企業するに至った経緯